

ハイタカ (European) Sparrow Hawk または Eurasian Sparrowhawk

日本にはハイタカ属のタカが 4 種類見られます。即ち、オオタカ、ハイタカ、ツミ、アカハラダカです。このハイタカ属の特徴は、まず第一に最もタカらしいタカで、俊敏な飛翔ができ、攻撃的で主に小鳥の類を飛翔中に追跡して捕食します。翼はやや短く、翼端は丸く林の中などで小鳥を追うのに適しています。

ハイタカ属の学名 *Accipiter* はラテン語の「獲物を捕える」に由来し、この種のトリの激しい狩猟方法を表現しています。この際 *Accipiter* は簡単で覚えやすいので、世界に通用する学名を一つ自分のものにしてはいかがですか？世界には 49 種の *Accipiter* がおり、そのうちの 4 種は前述のように日本でも見られます。

ハイタカは “Sparrow Hawk” (雀鷹—スズメを捕食するタカ) と呼ばれ、特にスズメ等の小鳥類を捕る性質が強調されております。European または Eurasian はその分布がヨーロッパまたはユーラシア大陸を中心としていることを示します。アメリカやオセアニアには全く分布していません。

本によっては Sparrowhawk と一語とするものと Sparrow Hawk のように二語に分けるものがありますが、基本的には大差はありません。ただ一語扱いのほうがより一般的になっているようです。

この小回りの利く戦闘機のようなハイタカも、時には勢い余って樹木に激突死をすることもあるとのこと。以て銘すべし！

大宮のハクトウワシ

『しらこぼと』 No. 148、1996年8月号より